



414
A 602
1



北海
 海道及ヒ樺太ノ地ハ當使創置以
 來專ラカヲ開拓ニ用ヒ未ク兵衛ノ事ニ
 及ハス今ヤ開拓ノ業漸ク緒ニ就キ人民ノ
 移住スル者モ亦隨テ増加ス之ヲ鎮撫保
 護スル所以ノ者無カル可カラス況ナ樺太
 ノ國家ノ深憂タルハ固ヨリ論ヲ待タス故ニ
 今日ノ急務ハ軍艦ヲ備ヒ兵衛ヲ置クニ
 アリ抑モ管内鎮臺ノ設ケ自ラ府縣ノ
 法ニ准シ施行アルヘシト雖モ真全備ヲ求

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

用石吏



バレハ費用甚鉅ナリ容易ニ辨スヘキ
ニ非ハ今略屯田ノ制ニ倣ヒ民ヲ移シテ
之ニ充テ且ツ耕シ且ツ守ルトキハ開拓ノ
業封疆ノ守リ兩ナカラ其便ヲ得ン因
テ其費用ノ出ル所ヲ計ルニ當使嚮キ
ニ大蔵省ヨリ借ル所ノ金百四十五萬圓
アリ其中本子合五十三萬四千八百圓餘已
ニ辨償セシ外本子尚百十八萬二千六
百七十圓餘アリ明年ヨリ三年間ニ當
使定額金ノ中ヨリ辨償スヘキ者ナリ

今之ヲ移シテ其費ニ充テ五十萬圓ヲ
以テ軍艦一艘ヲ外國ヨリ購入シ之ヲ
海軍省ニ付シ專ラ北海道ノ用ニ供
シ舊館縣及ヒ青森酒田宮城縣等士
族ノ貧窮ナル者ニ施テ強壯ニシテ兵役ニ堪
ユヘキ者ヲ精撰シ舉家移住スルヲ許シ
札幌及ヒ小樽室蘭函館等ノ處ニ於テ家
屋ヲ授ケ金穀ヲ支給シテ產業ヲ資ク
ル別紙ニ載スル所ノ如クニ非常ノ變ア
レハ之ヲ募テ兵ト為ストキハ其費大ニ常備

兵ヲ設クルニ減シ且ツ以テ土地開墾ノ功
ヲ収ムヘシ豈ニ至便ナラハヤ封疆ノ守リ
人民保護ノ道一日モ忽ニス可ラサルヲ以テ
敢テ建議奏請ス夫レ非常ノ事固ヨリ
非常ノ斷ニ非レハ成ル能ハス今日ノ議實
ニ己ムヲ得サルニ出リテ尋常成例ニ拘
泥スヘケンヤ伏シテ乞フ特例ヲ以テ速ニ
允裁ヲ賜ヒ大藏省ニ下令アラシメテ清隆
頓首再拜謹言

明治六年十一月

開拓次官黒田清隆